

# CAMPUS NEWS

vol. 122



CONTENTS

**【SPECIAL FEATURE 特集】**

地域協働型教育の実践

夢をかなえた先輩たち

(内定者インタビュー)・(紹介)

**【REGULAR CONTENTS】**

地域×研究 (長野大学 研究紹介)

サークル紹介



# 地域の課題に 考える力と想像する力で立ち向かう 足腰の強い人になる

長野大学の教育の特徴の一つに「地域協働型教育」があります。

これは地域住民や企業などと協働しながら、  
自分事として地域にある課題に向き合うもので学生たちはこうした経験により、  
地域から求められる人材へと育っていきます。

今回は入学から就職内定まで、  
どのような成長ストーリーを歩んできたのか、先輩たちの成長ストーリーを紹介します。

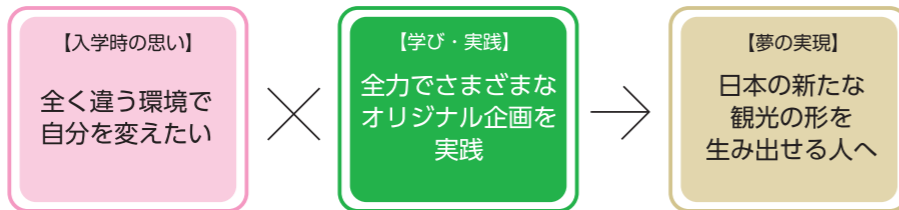


## 環境ツーリズム学部

### やりぬくことを目標に全力で 挑み続けた4年間

環境ツーリズム学部4年 今西 健太さん  
(兵庫県立北摂三田高等学校出身)

内定先 株式会社JTB



高校生の時に努力し切れなかったことが後悔としてあり、大学生活では「最後までやりぬく」ことを目標に決めました。ゼミ活動では、上田市の歴史的街並みをより堪能してもらえるよう、100回を超える観光ガイドのボランティアや上田電鉄別所線の100周年を記念して企画した、車両と学生100人がリレー形式で競う「別所温泉駅伝」の開催、夢チャレンジ制度\*を活用した上田に初めて来た大学生のためのグルメ本「イマニシユラン」の発行など、さまざまなことに全力で取り組みました。その結果、力を入れて取り組んだことすべてが観光に結び付いていることに気づき、旅行会社のJTBを志望しました。多くの企画を成功させることができたのは、目の前のことに対して常に全力で挑み続けてきたからだと思います。長野大学には授業での学びを活かし、問題提起から解決まで地域に出て自分自身で考えて実践するフィールドがたくさんあります。この経験を活かし、多くの人の「楽しい」を追求し日本の新たな観光の形を生み出せるよう、これからも考え続けていきたいです。

\*好奇心やチャレンジ精神旺盛な学生のオリジナリティーに富んだ企画の実現を資金的にバックアップする長野大学の制度。

#### 学部・ゼミの紹介（環境ツーリズム学部 熊谷圭介ゼミナール）

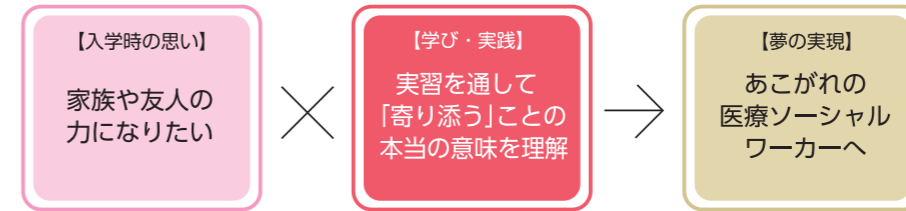
学部には、環境、観光、地域ビジネスの分野があります。熊谷ゼミでは、歴史的街並みの調査や景観保全手法の学習を行うとともに、来街者に街並みの魅力を知ってもらう機会創出に向けて地元住民組織と連携して取り組んでいます。

## 社会福祉学部

### 大学の学びと実習で 見つけられたなりたい自分

社会福祉学部4年 今須 さくらさん  
(長野県私立伊那西高等学校出身)

内定先 上伊那医療生活協同組合上伊那生協病院



高校時代に入退院を繰り返していた祖父や、精神疾患を抱えていた親友の姿を見て、本人や家族の力になりたいと思い地元長野県で社会福祉について学べる長野大学への入学を志望しました。大学では社会福祉士と精神保健福祉士2つの資格取得をめざし、病院や施設など3カ所で実習を行いました。実習当初は、支援者として利用者さんのために私が何かをしなければと考えていました。しかし、利用者さんの思いを受け止め寄り添いながら、ともに悩んだり考えたりしていく姿勢が大切なのだと気がつきました。就職は、医療機関で働きたいという希望があり、地域の地域医療を支える上伊那生協病院を志望しました。目標としていた医療ソーシャルワーカーとして将来は幅広い世代の方々の支援に携わり、さまざまな問題を一緒に解決できるよう経験を積み重ねていきたいです。

#### 学部・分野の紹介（社会福祉学部 社会福祉分野）

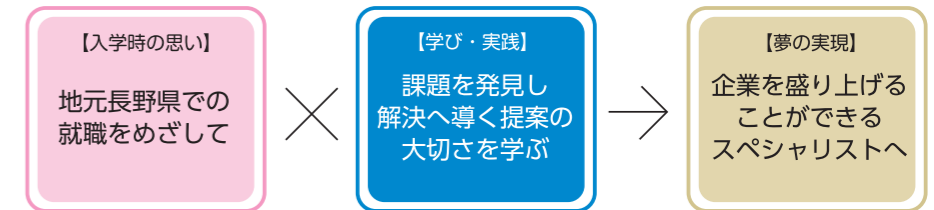
学部には、社会福祉、心理、発達・教育の分野があります。社会福祉の分野では、ソーシャルワークを行うための専門知識や技術、理念を体系的に学び、社会福祉士や精神保健福祉士の国家試験受験資格の取得を目標に、実習を通して実践的なスキルを身につけていきます。

## 企業情報学部

### 自分自身の進化が楽しめる ゼミナール活動

企業情報学部4年 小林 龍貴さん  
(長野県伊那北高等学校出身)

内定先 株式会社八十二銀行



地元長野県での就職を希望していたので、興味のあった経営を学ぶことができる長野大学への進学を決めました。入学当初は、学びたい学問の知識を得ることだけに満足していました。しかし、長野大学には幅広く地域で活動をしている先輩や友人も多く、共通して自分自身の意見や考えを伝える力がありました。未熟な自分自身に焦りを感じ、進化させるためにもなりたいた自分を想像してどのような環境に身を置くべきか自問自答しました。そのひとつがゼミ活動です。実際の企業と関わりながらその企業が抱える課題を発見し、解決へと導く活動に取り組みました。プロジェクトが成功することだけに目を向けるのではなく、日常会話の中から課題を導き出し、そこから相手の立場に立った提案をすることの大切さを学びました。就職は、ゼミでの学びを活かすことができ、長野県の経済活性化を支えることができる金融業を選びました。今後も、自分自身の進化を楽しみながら長野県の企業を盛り上げることができる金融のスペシャリストをめざしたいです。

#### 学部・ゼミの紹介（企業情報学部 森俊也ゼミナール）

学部には、経営、情報、デザインの分野があります。森ゼミでは企業イノベーションプロジェクトを研究テーマに、企業の抱える課題を発見し、多彩なアプローチで解決へとつなげる活動・研究を行っています。



## 夢をかなえた先輩たち

4年間のキャンパスライフで先輩たちは何を学び、何を見つけたのか。就職活動を終えて、これから社会へ羽ばたいていく先輩たちを紹介します。



### 学びで広がった視野を地元復興に活かしたい

社会福祉学部 細木 辰哉さん  
(福島県立葵高等学校出身)

#### 福島県庁福祉課

中学時代、不登校になった友人との関わりを通してソーシャルワーカーに興味を持ち、福祉の世界に目を向けるようになりました。高校1年次から長野大学への入学をめざし、オープンキャンパスにも高校3年間連続して参加しました。入学後は社会福祉士の資格取得のため、実習を通して福祉の学びの楽しさを知りました。地元の福島県は復興が進んでいますが、現在も住民同士の交流の場が少ないなど課題も多く残っています。住民が住み慣れた地域で安心して暮らすことができる福祉のまちづくり実現のため、県全体に関わることができる福島県庁を受験しました。大学の学びで広がった福祉の視野を、少しでも復興の役に立てられるよう努力していきたいです。



### 愛着のあるフィールドでさらなる飛躍をめざす

環境ツーリズム学部 松崎 裕也さん  
(栃木県立足利高等学校出身)

#### 信濃毎日新聞株式会社

地元紙に興味を持つきっかけとなったのは、地元の新聞記事を使った授業でした。コロナ禍で人とひととの繋がりが少なくなり不安を抱くこともありましたが、地元紙をあらためて目にした時、地域に情報を発信し地域との繋がりを実感することができとても魅力を感じました。就職活動を進めていく中で、地元栃木県に戻るか長野県にとどまるか悩みましたが、大好きな塩田平の街並みを見ながら学び続けてきたフィールドが長野県にあるからこそ、この地とともに生活をしていきたいと思いました。残りの大学生活では、長野県の主読紙に関わるからこそ長野県内の全市町村を自らの足で訪れ産業や文化などを学びたいです。

### 難しさをやりがいに感じ、将来は海外へ

企業情報学部 西村 綾莉さん  
(群馬県立桐生高等学校出身)

#### 株式会社コーセー

ゼミ活動では、企業や地域と連携したソフトウェアの開発を行っており、特に化粧品メーカーと共同でファンデーションやアイカラー、チークなどの化粧塗膜の視覚的質感を3DCGで再現する技術の開発に取り組みました。プロジェクトのチームリーダーとして、チームで開発を進める難しさとともに楽しさや達成感を感じました。就職先は、IT技術を用いて化粧品を再現したり表現したりすることに興味があり、化粧品メーカーを志望しました。ゼミでの経験や学んだことを活かし、最新のIT技術を活用したサービスを提供したいと考えています。また、将来は海外での仕事も視野に入れ、現在4年次の夏から半年の計画でカナダのモントリオールに語学留学をしています。



## 大学生活をより充実

長野大学には50を超える大学サークルがあります。ここではその中から3つの団体の活動内容をご紹介します。



### りんどう祭実行委員会

長野大学の大学祭である「りんどう祭」の企画準備・運営を行っています。コロナ禍での開催は感染警戒レベルに応じた対応が必要となり、さまざまなケースをメンバーと議論してきました。昨年は開催することができなかったからこそ、今年は多くの方の活力になるような大学祭をめざしました。主な活動は、イベントの企画や企業への協賛金依頼、広報物の作成など当日までの準備・運営全般を行っています。りんどう祭を大学全体が一丸となって楽しめるよう、私たちが中心となってこの大きなイベントを成功へと導くことはやりがいでもあります。



本安 彩さん  
社会福祉学部3年  
(富山県立高岡商業高等学校出身)

### 長野大学カーリング部

今年4年ぶりに復活したサークルです。選手としてチームに所属し軽井沢を拠点に活躍しているメンバーと、大学からカーリングを始めたメンバーと一緒に活動しているサークルです。初心者には氷上での歩き方からストーンを投げる基本動作など、丁寧に指導をしています。カーリングの練習場所が軽井沢町にあるので、上田市から移動する時間の談笑や軽井沢観光などメンバーと過ごす時間も思い出の1ページです。今後は、フィジカル面の練習も取り入れ、全日本大学対抗カーリング選手権大会への出場をめざします。



浅野 尊さん  
環境ツーリズム学部1年  
(長野県軽井沢高等学校出身)  
田村 星名さん  
環境ツーリズム学部3年  
(岩手県立盛岡第三高等学校出身)



### MIZUMATCHI(ミズマチ)

上田地域を拠点に街の活性化・水辺の活性化・水辺と街をマッチさせた街づくりをテーマに活動をしています。コロナ禍で不安になることもありましたが、大学生であるわたしたちから発信して地域を元気にしたいと思い、イベントの企画・運営を行ってきました。上田市にある菅平高原で行った、「KIBOU TERRACE〜スカイランタンで上田をテラス〜」というスカイランタンを飛ばすイベントでは、企画書の作成や企業への提案、資金の調達などに挑戦しました。今後も企画やイベントを通して、地域に元気を届けることができるよう活動を行ってまいります。



白石 楓美さん  
環境ツーリズム学部3年  
(東京都私立三田国際学園高等学校出身)

★その他のクラブ・サークル紹介は、こちらからご覧いただけます▶





# 地域×研究

長野大学では、長期的展望に立ち地域から世界につながる多様な  
 独自の研究を推進することを大学ビジョンのひとつとして掲げています。  
 こうしたビジョンの実現に向け、長野大学の教員は、地域を主題  
 とする研究の深化と教育・地域活動への活用を日々実践しています。



障害者の自立と自律を促す  
 福祉用具の研究開発と支援技術の普及

社会福祉学部 繁成 剛 教授 【主な担当科目】福祉用具の知識、福祉住環境論、人間と社会の理解

## 全国の障害児施設で長く活用される 歩行器と姿勢保持椅子を開発

主な研究テーマは、障害のある児童や高齢者の福祉用具、住環境のデザイン（計画、設計、提案）です。20年以上にわたる障害児施設のリハビリテーション工学技士としての勤務経験から、企業と共同で障害のある児童が使う車椅子や歩行器、遊具などをデザイン・開発し製品化してきました。代表的なものは、SRCウォーカーとトライチェアで、30年以上全国の児童福祉施設や支援学校等で活用されています。これらの福祉用具を一人ひとりの身体や能力に合わせて調整し、適合させることを支援技術と呼びます。これらの支援技術を普及させるため、リハビリや福祉に携わる専門職だけではなく障害のある方などへ情報提供・教育研修活動など力を入れて取り組んでいます。

## 福祉用具の活用で障害者の自立と自律を促進

障害者が身体や能力にあった福祉用具を活用することで、自らの意思で移動して日常生活を送ることができるようになると、社会参加や自己実現に向けた活動が可能になります。福祉用具と個人に合わせて適合させる支援技術は、障害者の自立と自律を促進する縁の下のかもちとすることができます。

## 福祉用具を選んだ的確なアドバイスが できる力を身につけて

繁成ゼミでは、学生たちが強化段ボールや木材を使った自助具などの簡単な福祉用具や遊具を制作しています。それらの作品は市内の児童福祉施設に寄贈し評価してもらい、その評価を学生にフィードバックしています。また、ゼミ生自ら障害のある方に必要な福祉用具のアイデアをまとめ、実際に福祉用具を試作し福祉機器コンテストに応募する活動を行っています。これらを通して、将来福祉用具を提供する企業や事業所の職員となったときに、福祉用具を必要としている人にどのようなものが有効で、それを適切に活用するにはどうしたら良いかを提案できるスタッフに育ってほしいと願っています。



### 繁成 剛教授からのメッセージ

今後、高齢者や障害者がますます増える傾向にあります。福祉用具は、そのような方が豊かな生活を送る上で必要不可欠な生活必需品と言えるでしょう。ぜひ福祉用具と支援技術の世界に興味を持ってほしいと思います。



地球環境改善をもたらす  
 地域成長への仕組みづくり

企業情報学部 市川 文彦 教授 【主な担当科目】商業と流通、経営情報システム論、オペレーションズ・マネジメント論

## 地球環境向上に繋がる実践的、流通的解決法を提起

専攻分野は社会経済システム論にもとづく、商業・流通ネットワークの研究です。社会経済システム論は、私たちの社会・経済の現状と問題点を正確にとらえ、その解決法を具体的に考えていく学問領域です。中でも私たちの生活を支える商業・流通ネットワークに注目し、消費関連データ収集と加工を軸に、経済・経営分析や国際比較、経済史のアプローチ、経営人類学的接近法など、さまざまな手法を駆使して課題を見出していきます。そして、地球環境向上に繋がる実践的解決法を考察・提起していきます。

## 地球温暖化を抑制する経済システム、 流通ネットワークへの組み換え

従来型の経済システムは、CO<sub>2</sub>排出を放置し結果として深刻な地球温暖化をまねきました。経済活動と環境保全は両立しないという見方も一般的でしたが、昨今100年に1度といわれるような天災が頻発して生活も脅かされ、温暖化を止める環境対策にもとづく経済活動への新たな組み換えは待たなしの状態です。現在「グリーン・ネットワーキング創り」というテーマで、SDGsが実現されるネットワークやシステムづくりを研究しています。この研究を通して、環境に負荷をかけずに経済・経営活動が実現される環境対応型のグリーン商品の開発などを具体化しています。

## 地球環境の持続性を意識した生活スタイルを、 地域で築くために

ゼミでは、上田市の企業と連携してリサイクル可能な段ボールを用いた「普段使いの簡易ベッド」と「組み立て式仕事場スペース」の2種類のグリーン商品開発を始動し、学生自ら提案した試作品の使用調査も実施中です。今後は、大量生産・大量消費される食品などの環境負荷度を調査・計測し、より環境の持続性が向上する生活スタイルを具体的に地域社会へ提起していく予定です。そして、多くの商品が入手可能な大量消費スタイルから、地産地消のような地球環境に負荷をかけない方式を広範に連結していくことをめざしています。

### 市川 文彦教授からのメッセージ

社会経済システム論の一つである、商業・流通ネットワーク研究は、社会の目まぐるしい変化に生きる個人と地域の生活実感の把握から始まります。地域の身近な問題が地球全体の課題と直結する可能性を意識すれば、日頃の買物内容も変わり、地球環境向上のための新たな地域ルールづくりも必要になるでしょう。みなさんの感性から、新鮮な課題解決方法をぜひ提案してください。



## 上田の名所と長大生

上田城跡公園(うえだじょうせきこうえん)

上田城は天正11(1583)年に真田昌幸によって築城され、2度にわたって徳川の軍を撃退した地としても知られています。上田城跡公園内には、真田神社や上田市立博物館などの観光スポットがあり、桜や紅葉の名所としても多くの観光客でにぎわっています。



〈表紙の長大生〉

粕谷 有里さん 環境ツーリズム学部3年  
(埼玉県立本庄高等学校出身)

幼い頃から、動物が車にひかれていた光景を見て心を痛めてきました。人と動物とが共存できる住みやすい自然とは何かを考えるようになり、環境について学ぶことができる長野大学を選びました。今はピオトーブ管理士という、人々と自然が調和した街をつくるために必要な資格取得をめざしています。

大淵 翔也さん 企業情報学部3年  
(長野県下諏訪向陽高等学校出身)

地域の企業へ実践的な取り組みをしているゼミ活動があると知り、長野大学を選びました。ゼミ活動を通して、企業が抱える課題を発見し解決していくために関係者から直接声を聞くことができ、多角的に物事を見ることの大切さを学びました。将来は地元諏訪に戻り、経営企画や商品開発に携われる企業で働きたいと考えています。

長野大学キャンパスニュース

# CAMPUS NEWS

## vol.122

発行：2022年10月  
長野大学アドミッションセンター運営委員会

〒386-1298 長野県上田市下之郷658-1  
TEL：0268-39-0020  
mail：kouhou@nagano.ac.jp  
ホームページ：www.nagano.ac.jp



## 学校推薦型選抜(推薦入試)

募集人員	願書受付期間 (消印有効)	試験日	試験科目	試験会場
社会福祉学部 45名	2022年 11/2(水) ↓ 11/11(金)	1次選考 11/19(土)	「国語」(国語総合)	本学
環境ツーリズム学部 23名		2次選考 12/3(土) 12/4(日)	面接	
企業情報学部 23名				

※学校推薦型選抜の募集人員には、長野県内高校在籍者優先枠があります。  
社会福祉学部/長野県内高校在籍者優先枠 30名 環境ツーリズム学部/長野県内高校在籍者優先枠 15名  
企業情報学部/長野県内高校在籍者優先枠 15名  
※詳細については、学生募集要項でご確認ください。

## 一般選抜

試験区分	募集人員	願書受付期間 (消印有効)	試験日	試験科目・配点	試験会場
前期	社会福祉学部 45名	2023年 1/23(月) ↓ 2/3(金)	個別学力 試験を 課さない	<b>大学入学共通テスト計4科目600点満点に 業績点4点満点を加え、合計604点満点で判定</b> <b>●大学入学共通テスト</b> <b>【社会福祉学部】</b> ・「国語」(200点)必須 ・「外国語」(200点)必須 ・「地理歴史」、「公民」、「数学」、「理科」の受験した科目の中から上位2科目(100点×2=200点) <b>【環境ツーリズム学部】【企業情報学部】</b> 受験した科目を100点満点換算し、上位4科目(100点×4=400点)を活用する。4科目の上位2科目をそれぞれ2倍して200点満点とし、残り2科目をそれぞれ100点満点とする。 ※国語と外国語は200点を100点に換算する。 なお、同一教科の2科目でも有効とする。「理科」の「基礎」を付した科目については2科目で1選択とする。	-
	環境ツーリズム学部 32名				
	企業情報学部 32名				
公立大学中期	社会福祉学部 30名	2023年 1/23(月) ↓ 2/3(金)	3/8(水)	<b>大学入学共通テスト4科目と個別学力試験2科目の合計点計6科目400点満点に調査書10点満点を加え、合計410点満点で判定</b> <b>●大学入学共通テスト</b> 受験した科目の中から上位4科目(50点×4=200点)。なお、同一教科の2科目でも有効とする。「理科」の「基礎」を付した科目については2科目で1選択とする。 ※国語と外国語は200点を50点に、他の科目は100点を50点に換算する。 <b>●個別学力試験</b> ・「国語(国語総合)」必須 ・「英語(コミュニケーション英語I・II)」、「数学(I・A)」の2科目から1科目を選択 計2科目各100点 計200点	本学 長岡 東京 福島 名古屋 富山
	環境ツーリズム学部 25名				
	企業情報学部 25名				

※大学入学共通テスト実施日：2023年1月14日(土)・15日(日)  
※詳細については、学生募集要項でご確認ください。

## インターネット出願のご案内

すべての入試区分においてインターネット出願を行います。



・パソコン  
・スマートフォン  
・タブレットから  
出願できます!

### ◆インターネット出願の特徴



願書取り寄せ不要



24時間出願可能



出願時のミス防止

インターネット出願は願書の取り寄せが不要です。出願はホームページのインターネット出願ページから行ってください。学生募集要項は長野大学ホームページから直接ダウンロードできます。

インターネット出願中は24時間受け付けています。出願期間中はいつでもどこからでも出願可能です。入学検定料は、コンビニエンスストア・クレジットカード・銀行ATMでのお支払いが可能です。

インターネット出願は画面表示に従って必要事項を入力するだけです。もし記載ミスがあっても自動で入力内容がチェックされますので、記入漏れの心配がありません。

※インターネット出願完了後、志願票を印刷して必要書類とともに提出してください。  
すべての手続きがインターネット上で済むわけではありませんのでご注意ください。